

120年の軌跡

4

このコーナーでは、宇都宮の120年の歩みを年表と写真で紹介します。

昭和3～13年



◀県庁舎新築 昭和11年(1936年)3月に、失火により全焼した後、約2年をかけ新庁舎が完成しました。設計者は早稲田大学の佐藤功二教授。鉄筋コンクリート4階建ての堂々たるゴシック建築でした。

宇都宮市年表

西暦	昭和	主な出来事
1938	13	▽県庁舎が新築される
1936	11	▽旭町の大ケヤキが天然記念物に指定される
1932	7	▽宇都宮常設野球場が開設
1931	6	▽東武鉄道宇都宮線が開通
1928	3	▽小学校で初の鉄筋コンクリート造りである今泉小学校が創立 ▽商工会議所が新築される



▲宇都宮常設野球場 現在の宮の原小学校の場所に開設されました。いつでも野球ができる専用の観客席(収容2万人)を備えるグラウンドで、球場開きには「早慶戦」が開かれました。写真は、昭和14年(1939年)男子中学校生徒体育大会のものです。



◀東武鉄道宇都宮線が開通 東武宇都宮駅は西原町(現・明保野町)へ移転した宇都宮監獄所(刑務所)跡地に開設されました。ターミナル駅として本市の西の玄関口の役割を持ち、駅周辺には「新馬場」と称する新しい商店街が形成されました。